



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	高杉, 豊; 辻野, 守典; 藤井, 暁 他
Citation	makoto. 1997, 97, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85883
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



大阪府環境保健部長

高 杉 豊

謹んで新年の御祝辞を申し上げます。

皆様には、ますますご清栄にてよいお年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

平素より、本府の環境保健行政に格段の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、昨年の初夏に端を発したいわゆるO-157の大規模発生に際しましては、皆様の積極的な御協力をいただき、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

このO-157の大規模発生は、感染症が制圧されたものではなく、人間にとって依然脅威であるということを、苦い思いでかみしめることとなりました。

国においても危機管理という観点から、伝染病予防法の抜本的改正を含めた感染症対策の法体系の見直しをはじめておりますが、本府といたしましても保健所に専門職による感染症担当を配置し、緊急時には迅速かつ機動的に活動できるよう、感染症対策チームの編成などを検討しているところでございます。

また、先に策定いたしました「大阪府健康ビジョン」に示されているように、21世紀に向けて、全ての府民が生き生きと健康に暮らすことのできる「健康都市・大阪」の実現を目指し、人の健康、都市の健康を確保するために、一層の努力を続けているところでございます。

なお、本年は第52回国民体育大会や第33回全国身体障害者スポーツ大会の開催を控えており、貴協会をはじめ関係諸団体のより一層の御理解と御協力をお願いする次第でございます。

最後になりましたが、皆様の御健勝と御繁栄を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

謹 賀 新 年



財団法人 大阪防疫協会

理事長 辻 野 守 典

明けましてお目出とうございます。

昨年中は何かとご指導ご鞭撻賜りまして、有り難う御座いました。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、当協会は昭和22年5月15日当時の世相を反映して、各方面の多彩な代表者の御出席のもと発会式を挙げました。戦後日も浅く、街にはヤミ市が立ち伝染病は大流行し、その中で特に駐留軍も力をいれた伝染病対策に発疹チウスがあり、その媒介動物である「シラミ」の防除にDDTの一斉散布と予防接種がありました。

多くの企業がそうであったように、この時期に設立された協会も数々の困難にあいながら関係機関のご指導のもと、事業の拡大に努め今日に至りましたことを、この機会に改めてお礼を申し上げます。

協会の業務の一つでありますベストコントロール業務の一つと見ましても、時の移り変わりと共に、ヒゼンダニからコナダニ、ツメダニ更にチリダニと変わり、特にチリダニに関してはアトピーとの関係で公共研究機関との共同研究により、関係学会に共同発表をしまりました。

ところで、昨今は戦後伝染病が大流行するようなことは無くなりましたが、食中毒による事故は今なお多発し、あってはならないと考えられる学校給食に、腸管出血性大腸菌（O-157）による大変な食中毒事故が起こってしまいました。

未だ感染経路のはっきりしない例もありますが、思うに何年前に起こったボツリヌス菌によるカラシ蓮根の食中毒事故、思えば真空パックにしたことでの事故でした。

食品工場の衛生管理に、HACCP方式の導入が早くから提唱されてきています。

O-157の感染経路の早期究明とその対策が立てられることを望みたいものです。

協会業務の視野も随分と広がってきました、その社会貢献と責任の大きさを痛感いたしております。

新年のごあいさつ



大阪市環境保健局長

藤 井 暁

新年あけましておめでとうございます。

平成9年の新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様の御多幸と御繁栄を心からお祝い申し上げます。

旧年中は、本市の環境保健行政をはじめ市政の推進に格段の御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、去年は、病原性大腸菌O-157による感染症が全国的に広がる中、本市におきましても対策本部を設置し、二次感染の予防とともに感染原因の究明に努めてまいったところでございます。関西国際空港の開港に伴い、人・もの・情報の交流が今後一段と活発になっていく中で、輸入感染症に対する総合的な対策の強化の必要性を痛感しているところでございます。

大阪市におきましては、21世紀を目前にして新しい時代にふさわしい国際都市を築くために、人と環境にやさしい、文化の香り高いまちづくりを進めております。

その一環として、本年5月には、鶴見緑地内において環境学習拠点施設「生き生き地球館」のオープンを予定しておりますが、その中に「生き物共生コーナー」を設けて、生きた昆虫等の常設展示を行い、身近に昆虫に接することを通じ、自然との関わりや環境問題を考えていただくと考えております。

こうした事業を推進するにあたりましては、これまでに貴協会が培われてきた豊富な知識や経験、高度な技術は誠に心強いものであり、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、財団法人大阪防疫協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市環境保局衛生部長

梶 原 弘 道

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、すがすがしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市衛生行政に格段のご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年7月本市で発生いたしました学童を主体とする下痢症の集団発生につきましては、6,000人に及ぶ患者が発生し誠に残念なことに2名の児童が亡くなるという大変な事態となりました。このため医療機関の確保、二次感染の防止等、市民の不安を解消するための対策を行った結果、8月8日以降新たな患者の発生もなく11月1日、今回の食中毒に関して二次感染の危険性も去ったと言うことで『安全宣言』を行ったところであります。この事態の解決に当たりましては、多方面の方々より多くのご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。この紙面をお借りし、心より厚くお礼申し上げます。

また、近年の急激な人口の高齢化、少子化の進行、慢性疾患の増加等疾病構造の変化、市民の健康に対する意識の変化とそれに伴うニーズの多様化に対応するため、また政令指定都市をめざした支所行政に対応するため、本年4月に6番目の保健衛生施設としての（仮称）堺市東保健総合センターを開所いたします。本市におきましては、より一層の地域における保健衛生の向上、増進を図るため福祉施策と連携し、『ひとりひとりが健康で住みよいまち堺』をめざした身近な保健サービスの充実に努めてまいります。

これらの事業の推進にあたり、貴協会が常日頃から培われてこられた豊富な知識・経験と高度な技術力をもとに、輸入感染症の防止に貢献されてこられたことは、本市におきましても誠に心強いものであります。今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年で創立50周年を迎えられる財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市保健衛生部長

金 木 義 直

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、本市は、この2月で市制施行30周年を迎えます。人であれば、新たな飛躍の年、出発の年といえます。本年は奇しくも、高度化する医療需要に対応することができる本市の医療拠点となる市立新総合病院が、11月に竣工する予定となっており、「健康でたがいに支えるあたたかいまちづくり」を推進しているところでございます。

さて、昨年をふりかえりますと、何と言いましても病原性大腸菌O-157対策のこととなりますが、幸い本市では集団での発生例はありませんでした。私共は市民に対して予防啓発を積極的に行い、発生時には、食品等の原因究明や二次感染防止の対策を精力的に押し進めてまいりましたが、特に今回の事件に際しては、市民に対する正確な情報を迅速に提供すること及び、関係部局の連携や総合的な連絡体制が重要であることを痛感いたしました。

4月からは地域保健法が本格的に施行となります。保健と福祉との連携を図り、市民ニーズに的確にこたえていけるよう、体制をより充実させ、ライフステージに応じた健康づくり対策や、増殖が危惧されるセアカゴケグモ等の生活害虫対策を始めとする生活環境対策を、よりきめ細やかに展開してまいりたいと考えております。

今後とも、本市保健衛生行政をさらに推進させていくため、防疫業務に精通されている貴協会のなご一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



財団法人

阪大微生物病研究会

理事長 務 基 方 彦

謹んで新春をお慶び申し上げます。

年頭に当り、財団法人大阪防疫協会の皆様のご多幸とご繁栄を心からお祝い申し上げます。

旧年中は弊会の事業に、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

一昨年は予防接種法が改正され、昨年は実質第一年目の年でありました。この改正は、予防接種事業の革新的な変更であります。

集団予防接種から個人防衛への転換は、個人の病気は個人が防衛することを原則とする先進国型への変化であります。このことによって、多くの医療機関で常時ワクチン接種が実施することが可能になりました。

一方この改正は、ワクチンメーカーにとっても流通面に於いても大きな変化をもたらしました。特に貴会の方々には大変革であったと思います。

昨年は、ワクチンをめぐって事件が発生した年でありました。特に添加物（ゼラチン）による副作用が問題視されるようになり、皆様には多大なご苦労をおかけしましたこと、大変申し訳なく思っております。早急に解決すべく努力しており、本年は解決する年になると思っております。しかし、ワクチンは感染症対策にとって唯一、最も有効な手段であり、かつ最も経済的であることは、世界共通の認識であります。先進国におけるワクチン接種は国家政策の中で奨励され、病気の予防と治療費の節約、国民生産力の向上に寄与しております。

私どもは、ワクチン事業の持つ社会的使命を果たすべく初心に帰り、ワクチンの改良と新しいワクチンの研究を開始しております。

貴会と協力し、私どもの使命を果たしてゆきたいと思っております。

貴会の益々のご努力を期待しております。

新年のごあいさつ



南海電気鉄道株式会社

バス営業本部 営業部 管理課長

向 井 雅 治

新年明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げます。

さて、改めて過ぎ去った1年を振り返りますと、国内外の諸情勢が大きく揺れ動く中、国内の経済はバブル以降長期に亘る不況から今一步、脱することが出来ず新しい年を迎えることになりました。交通事業をとりまく環境も一段と厳しく、その意味では今年こそ本格的な景気浮揚の年となるよう、強力な施策の実行を望みたいものであります。

ところで、交通事業に携わる私達の日常の仕事は、お客様の生命を預かると言う責任の重さに比べて、極めて地味なものであります。そこで、当社のバス事業の一部を簡単に紹介させて載き、新年の挨拶と致します。

当社バス事業は大阪府の南部、いわゆる泉州地域と東南部を営業エリアとし、この地域にバス約600両を配備し、1日17万人のお客様をお運びしております。沿線各地域から最寄りの駅と駅を結び、密接な輸送ネットワークを形成しております。

当社では、近年の著しいモータリゼーションの波に対抗し、他の交通手段からお客様を呼び戻すため、現在、様々な新しい工夫や試みを行っております。

似え一例を挙げますと、昨年4月お客様の多様化や個性化に対応するため、堺市の鳳地区に西支所が開設されたのを契機に、高野線堺東駅と鳳西支所間に新しく「鳳シャトルバス」を運行させました。「障害者、高齢者にやさしいバス」を実現するため、車椅子のまま乗降できるハイグレードな超低床バスを導入しております。

一方、関西国際空港の開港にあわせ泉ヶ丘駅、河内長野駅からは、直通リムジンバスを走らせ好評を得ております。

交通事業に携わる私達の最大の使命は、「安全」にしかも「良質なサービス」を提供することですが、今年も安全輸送は言うに及ばず、バス運営のソフト面でもきめの細かいサービスを徹底し、地域の最も身近な交通機関として努力を続けて参りたいと考えております。

最後になりましたが、貴協会の益々の発展をお祈り申し上げます。

新年を迎えて



関西テレビ放送株式会社

総務局 総務部 施設管理チーフ

老 邑 俊 男

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、益々ご繁栄のこととお喜び申し上げます。

昨年は「O-157」食中毒事件が各地で発生し、関西テレビも取材等、緊張の連続でした。いまだ発生原因も不明で、終結したかどうか不安が残りますが、今まで以上に衛生面には気をつけたいものです。

さて、今年は私も関西テレビにとりまして、かってない忙しい年になりそうです。

と、申しますのは、現在、大阪市北区の扇町公園の一角に新社屋を建設中で、今春に完成、夏に引っ越し、秋には新しい社屋からの放送が始まるのです。放送局の引っ越しというのは、皆様方には想像し難いことだと思いますが、来年開局40周年を迎える私どもにとりまして初めての体験で、これからの1年を考えますと、不安と期待とで身の引き締まる思いです。外観はほぼ出来上がっておりますので、すでに御覧になった方もおられると思いますが、水色と白色のツートンに赤色のアクセントのある地上13階、地下2階、天満あたりでは、かなり目を引く建物と思われます。名称は「扇町キッズパーク」（仮称）で、この6階より上階に関西テレビが入居します。『引っ越しのため本日休業』と放送を休むわけにはいきません。ましてや膨大な量の放送機器の搬入、調整、そして完成に至るまでには相当の日数がかかります。現社屋での放送を続けながらの引っ越し作業、一夜にしての放送切り替えなど、関西テレビの全社員が一丸となって越えなければならない峠が待っています。秋には、ニューメディアの最先端の放送居として生まれ変わります。是非、遠慮なくご来社下さい。ご案内申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍、ご健勝をお祈り致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。